

平成27年度 第2回那珂市行政評価外部評価委員会 要旨

日時 平成27年9月30日(木) 午後2時~午後4時10分

場所 那珂市中央公民館 1階 大会議室

出席者：伊藤伸 委員長、委員他4名

市民判定人：4名(3名欠席)

担当課：6課19名

事務局：海野 徹市長、
平野室長補佐(総括)、猪野室長補佐

1 開会

(1) 市長挨拶要旨

今回、無作為抽出により600人の市民のかたに対して市民判定人のご案内状をお送りしたところ、7名のみなさまの応募をいただきました。みなさまには、本日のほか、10月17日の外部評価当日まで、ご協力いただくこととなります。よろしくお願いいたします。

ご承知のとおり、当市では、平成24・25年度の2年間にわたり「事業仕分け」を行いました。昨年度は、外部評価という手法で、当市が行う事業を自ら振り返る事務事業評価の客観性及び透明性を確保するため、実施いたしました。今年度も昨年度に引き続き、市民判定人に評価をお願いする「市民参加型による外部評価」を実施することといたしました。

この外部評価をとおして、市が行う事業が市民のみなさんにも当事者意識を持って「自分事」として身近に考えられるよう、そして、より効果的な事業となるよう、市民のみなさまとともに、協働のまちづくりを名実ともに実践していくことができると考えております。

また、外部評価委員のみなさまにも、快くお引き受けいただき、ありがとうございます。各市の市民のみなさまと共に、実際のまちづくりにご活躍されているかたを委員としてお招きすることができ、当市の事業の課題を的確に示していただくことができるものと考えております。

本日の説明会の内容をとおして、外部評価の趣旨をご理解いただき、10月17日に予定しております外部評価当日に、今後の対象事業のあり方を判定していただければと存じます。

最後に、今回の外部評価を契機として、今後もまちづくりにご協力くださいますようお願いいたします。私のであつといたします。

(2) 委員長挨拶要旨

構想日本の伊藤と申します。今回の外部評価委員会の委員長を務めさせていただいております。さきほど市長からご挨拶がありましたとおり、昨年からの外部評価委員会を、その前の2年間は事業仕分けをやってまいりました。私は、その仕分けの時から3年間続けてこの取組みに参加をさせていただいております。このあと、実際に10月17日に行う外部評価のやり方についてご説明いたしますが、その考え方については、過去2年間実施した事業仕分けの考え方に基づいて行われることとなります。

構想日本は、この事業仕分けを作った組織であります。仕分けというと、どうしても国の仕分けというイメージが残っていると思うのですが、13年くらい、地方自治体を対象にして構想日本として実施している取組みです。この取組みを那珂市でも4年前に市長が行政評価の取組みの一つとして取り入れられたというのがきっかけになっております。

もう一つは、去年から行われているこの外部評価の大きな特徴があります。さきほどお話があった

とおり、委員のかたは県内の他市の職員のかたが務めておられます。こういったこと自体も非常に珍しいのですが、通常、他の市の職員のかたに入っていたらこうとすると、個人でお願いをするというよりは、役職でお願いするというケースがほぼ全てなのですが、那珂市はこの取組みの趣旨や、事業仕分けの考え方やスキルを持っているかたに、ある意味では個人にお願いをして、今回評価委員として務めていただいております。これは全国でも初めての取組みでして、去年一年間やってきた取組みのなかでも、他の都道府県でも取組みができないかと構想日本に問い合わせがあるくらい広がりが見え始めています。そういったところを本日は判定人のみなさまにも、このようなことを那珂市でやっているということをお感じいただければありがたいと思います。よろしく願いいたします。

(3) 各委員挨拶要旨

A委員

この那珂市の取組みに参加させていただきながら、私自身も勉強させていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

B委員

外部評価をとおして、厳しい議論というよりは、那珂市にとってより良い方向になり、その後、参加している私たちの自治体にとってもより良い方向になり、さらには茨城県内に波及し県全体でもより良い方向性になれば、いわゆる「三方よし」という形になればと考えております。よろしく願いいたします。

C委員

今は総合戦略室というところで、みなさんの自治体でも進めていらっしゃる総合戦略策定を担当しています。那珂市の外部評価委員としては、昨年に引き続き2年目となります。一つだけ。先日行方市で行われました事業レビューというところに仕分け人として参加してまいりました。その中で一番最後に市民のかたがおっしゃっていた言葉で印象に残っている言葉がありまして、「市役所がこんなことまでやっているんだということが分かって良かった」ということと、「これだけ情報を出してくれれば、もっと早く私たちは市に対して話ができただけではないか」ということを、最後の講評のなかで市民のかたが話をしてくれました。那珂市においては、数年前からこうした取組みをされていて、いかに行政が市民のかたにやっている情報を伝えるかということに関して力を入れてきたということが、県内でも模範となる自治体だと思いますので、市民のかたに分かりやすい論点整理に私たちも務めますし、職員のみなさまにも質問のほうはできる限り市民のかたに分かりやすい受け答えをされますようお願いしたいと思います。今回もよろしく願いいたします。

D委員

今回外部評価委員として参加させていただくのは初めてですが、つくばみらい市では、平成25年度まで事業仕分けを3回実施したしまして、那珂市・かすみがうら市との3市で行ったシンポジウムでもお世話になり、今回このような形で参加させていただき、那珂市の各事業を勉強させていただき、当市との比較も行い、今後のためになればと思っています。よろしく願いいたします。

2 説明

配布資料に基づき、本年度の外部評価のねらい、当市の財政状況、外部評価の手順、対象事業の概略について説明した。

- (1) 平成27年度那珂市行政評価外部評価について（平野行財政改革推進室長補佐（総括））
- (2) 那珂市の財政状況について（茅根財政課長補佐（総括））
- (3) 外部評価の手順について（伊藤委員長）
- (4) 外部評価対象事業の概略について（平野行財政改革推進室長補佐（総括））

3 質疑

特になし

4 閉会

外部評価当日（10月17日（土））までの留意点について、事務局から説明し、閉会した。